EVのある暮らしの実現に向けて

日産自動車株式会社
日本・アジア事業統括室
EVプロモーション・グループ

(C) Copyright NISSAN MOTOR CO., LTD. 2009 All rights reserved.

内容

① 充電方式について

② LEAFへの給電方法について → 私は 日産アドバンスドテクノロジーで一斉に出す。

③ 日産の考える充電インフラのあり方について

④ コンセント・充電器の種類について

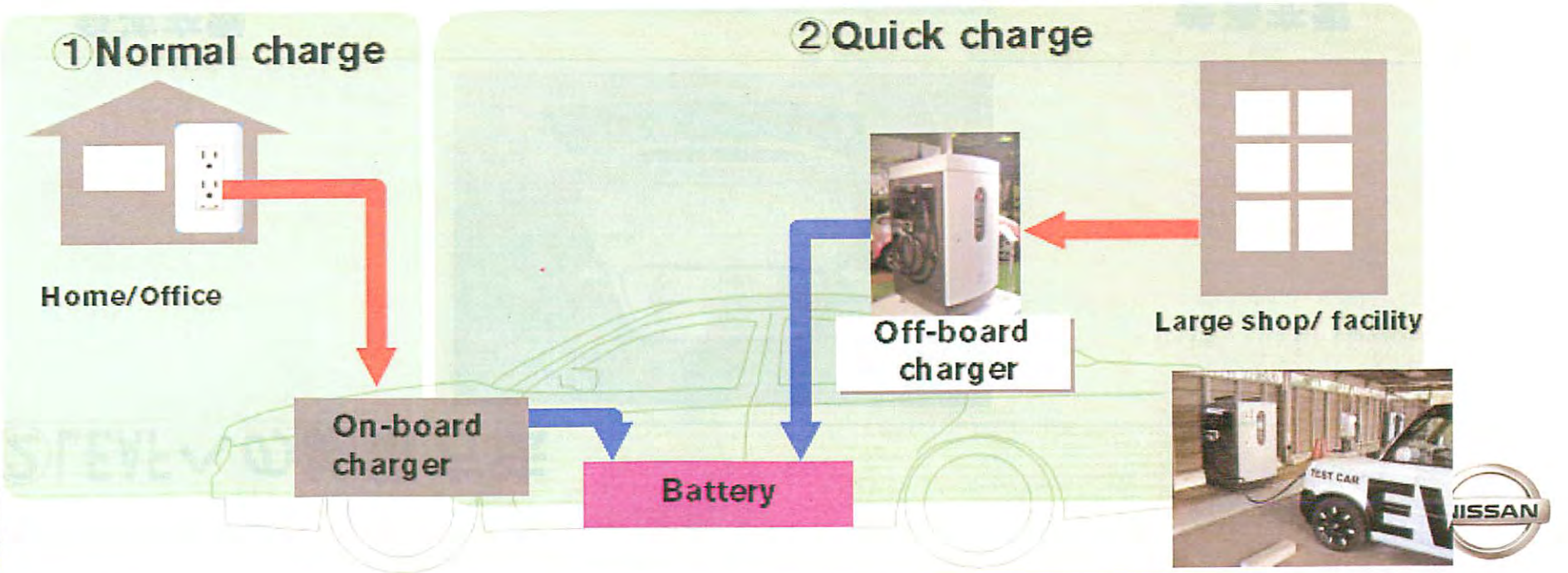
①充電方式

■ 基本は、家庭/オフィスでの**普通充電＝コンセント**による充電。

・出先でのセーフティーネットとしての、**急速充電器。**

・短時間の充電でも、日常使用に支障は全くありません。

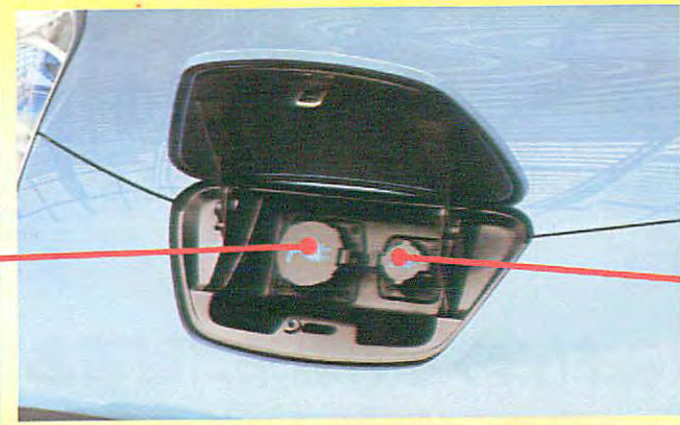
日産EV充電時間	フル充電		短時間充電
普通充電（家庭/オフィス）	8 時間（0-100%）	200V/3.3kw	20分で8km
急速充電	30 分（0-80%）	500V/50kw	10分で50km



②LEAFへの給電方法

急速充電

急速充電器から接続



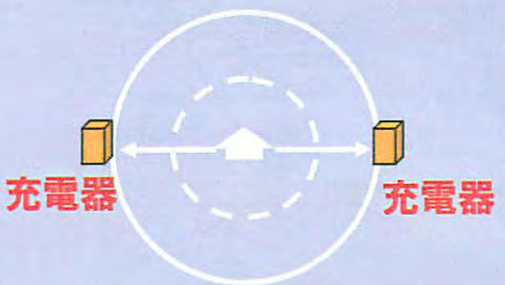
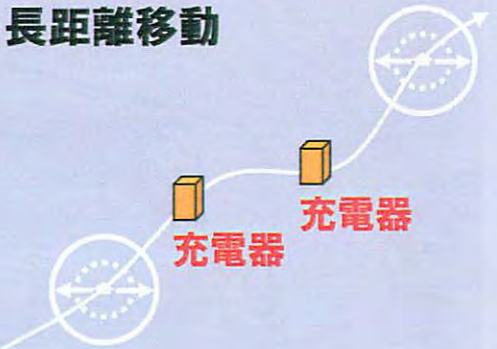
車両前部に充電口を設定

普通充電

家庭などの電源コンセントから接続

ノズル、コネクターは統一規格

③充電インフラ整備に関する日産の考え方

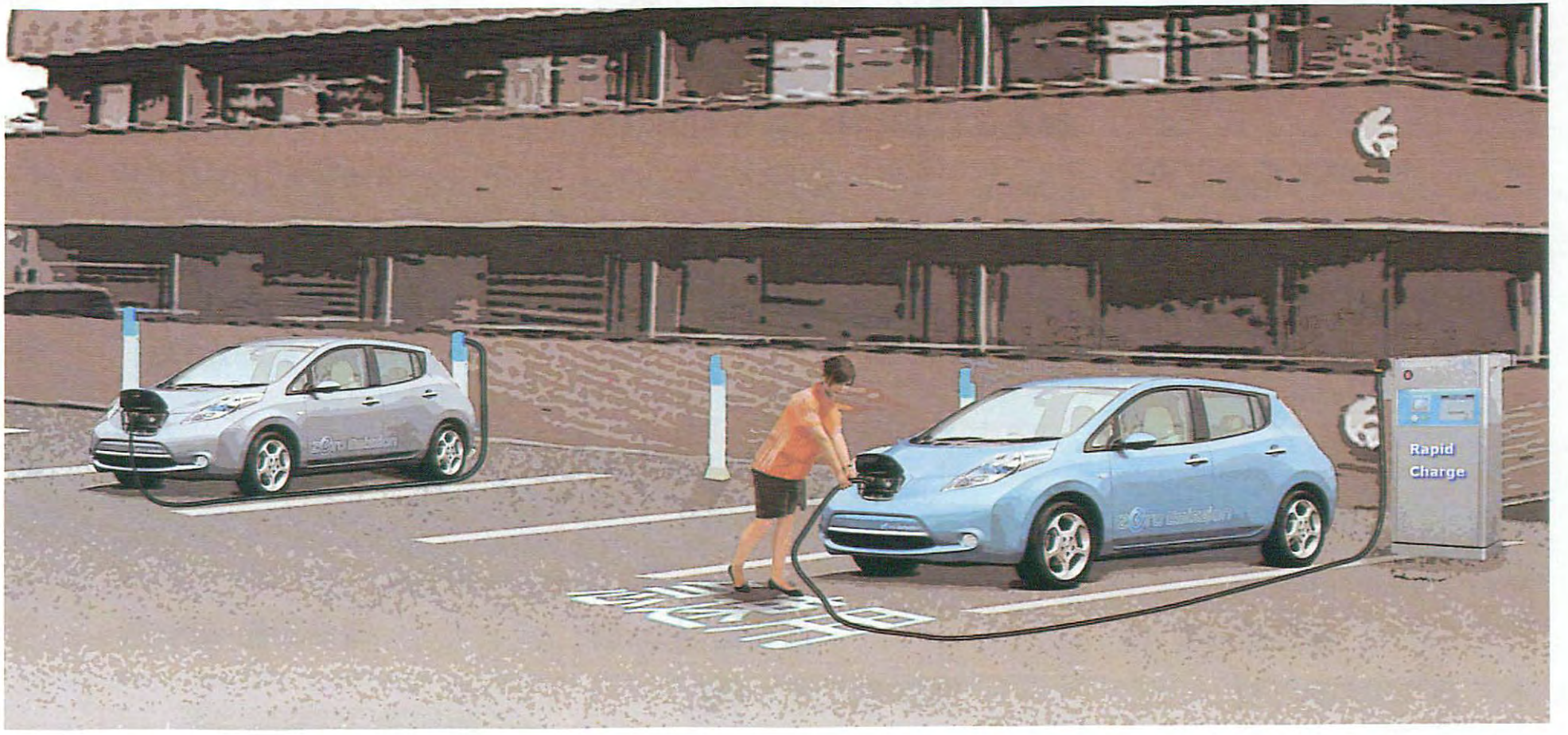
	1） 基礎充電環境	2）充電ネットワーク	
		A） 目的地充電	B） 経路充電
EVの利用形態	短距離・往復移動 家・事業所の車庫で充電し、航続距離の範囲内で往復する	短・中距離移動  目的地で充電し、往復する。	中・長距離移動  離れた目的地までの移動
充電器の種類	コンセントによる充電 （200V20A） （100V15A）	滞在時間長：コンセントによる充電 滞在時間短：急速充電器50kw	急速充電器50kw
設置場所候補	戸建て住宅・ 分譲/賃貸マンション駐車場 事業所の駐車場（含む貸ビル） 月極め駐車場	ショッピングセンター、空港、駅 ゴルフ場、旅館＆ホテル、 コインパーキング、 ファーストフード店等	高速道路-PA/SA、 ガソリンスタンド，道の駅

↳ここをどうするか？これによってガソリンかEVかの分かれ道となる。

SCENE：マンション駐車場（屋外：平置き）

イメージ画像です。

※実際のシーンとは異なります。

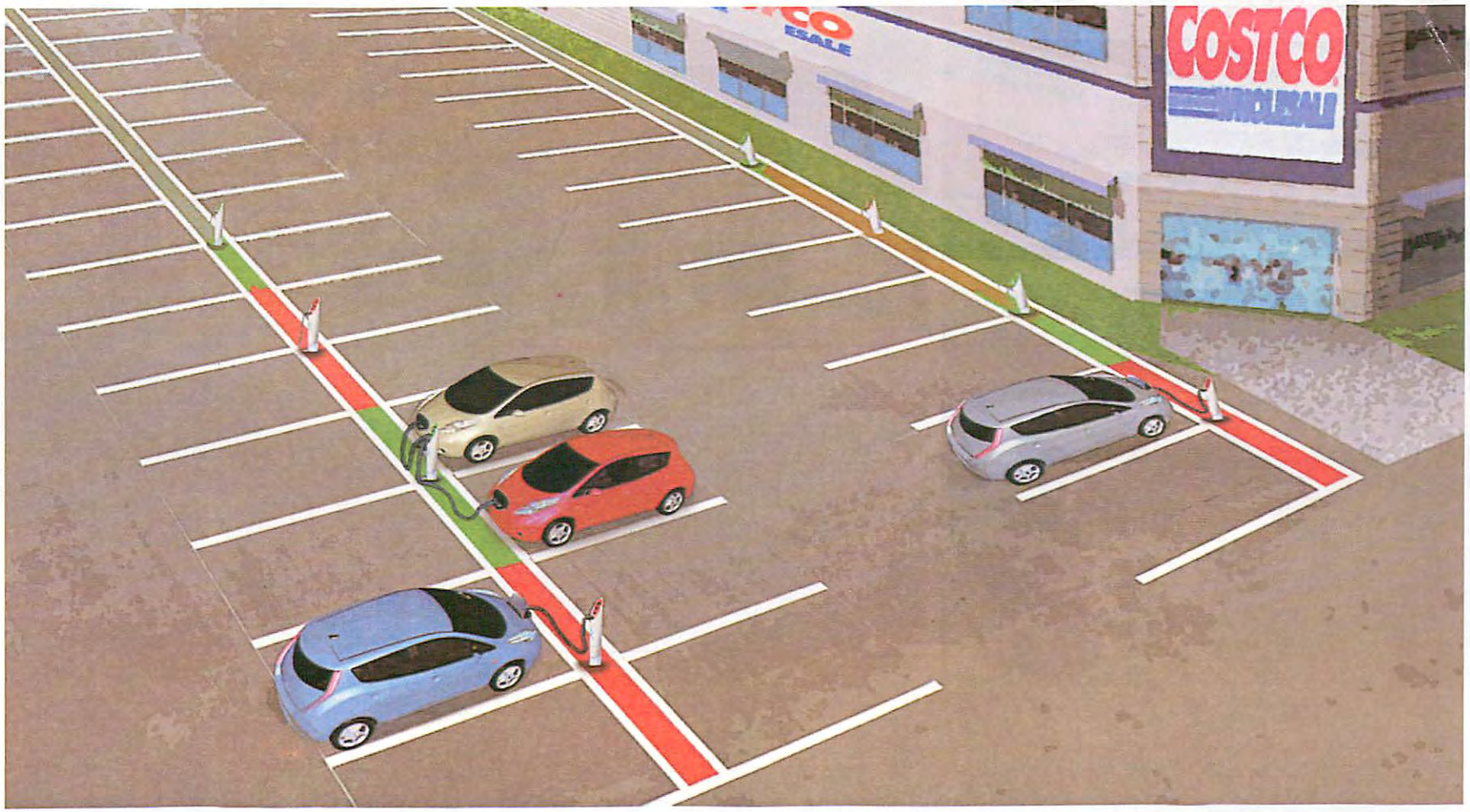


急速充電器、もしくは200V電源を専用ポールの設置を想定。

SCENE：商業施設駐車場（屋外：平置き）

イメージ画像です。

※実際のシーンとは異なります。



EV専用ゾーンに200V電源を専用ポール設置で想定。1ポールで最大4台まで充電可能。各充電ポールの駐車エリアを色で識別。

SCENE：急速充電スタンド（ガソリンスタンド内）

イメージ画像です。
※実際のシーンとは異なります。

ガソリンスタンドにある急速充電器で充電。充電完了はLEAFがメールで教えてくれるから時間を気にせず店内で休憩出来る。
充電に来る様になってから併設ショップも利用する機会が増えた。

④充電器の種類 － 普通充電器（100＆200V・平置き駐車場用）

	スタンド・タイプ 豊田自動織機製	ポール・タイプ パナソニック電工製	コンセント パナソニック電工製
イメージ		 2010/6発売予定	 2010/8　新規格品 発売予定 ← 次回は何とかする改修へ
本体コスト	４５万円	２０万円（推定）	５千円（推定）
設置場所候補	ＳＣ等時間貸し駐車場 （横浜市補助金対象）	既設マンション・商業施設 （共同スペースへの設置）	戸建て住宅、事業所
特徴	充電ケーブル付き 施錠・タイマー制御	コンセントのみ 施錠・充電状態表示	防水・専用電線 室内から制御可能
工事費	５０万円（推定）	４０～５０万円（推定）	５～２０万（推定） 建屋の状況による

④　充電器の種類　急速充電器

5社が今指定されている。

外観	 昭和シェル藤沢SSに設置された急速充電器（料金無料・15分限定） 首都高速・大黒ふ頭PAに設置された急速充電器（料金無料）
性能	５０ｋｗ（５００Ｖ・１２５Ａ）、８０％の充電まで約30分
コスト	本体価格：350万（０９年度半額補助）、設置コスト：施設の受電状況による
備考	奥行き450～750mm、全幅600～1120mm、 全高1580～1120mm、重量300～380kg

350万円
(国から1/2出る)